

1,345万円の増益で2,361万円(当期活動増減差額)の黒字決算 要因は…24時間テレビから入浴車の寄贈とマイクロバスの売却益など

事業活動計算書 (抜粋)

(単位:円)

内 容		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	前年比
※ 1 サービス活動増減の部	収 益	392,472,022	399,445,142	△ 6,973,120	98.25%
	費 用	381,364,186	393,400,617	△ 12,036,431	96.94%
	増減差額 (1)	11,107,836	6,044,525	5,063,311	183.77%
※ 2 サービス活動外増減の部	収 益	1,749,887	1,397,431	352,456	125.22%
	費 用	0	0	0	
	増減差額 (2)	1,749,887	1,397,431	352,456	125.22%
※ 3 特別増減の部	収 益	10,753,999	2,721,600	8,032,399	395.14%
	費 用	2	11,592	△ 11,590	0.02%
	増減差額 (3)	10,753,997	2,710,008	8,043,989	396.83%
当期活動増減差額 (4)=(1)+(2)+(3)		23,611,720	10,151,964	13,459,756	232.58%
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (5)	199,030,583	187,911,117	11,119,466	105.92%
	当期末繰越活動増減差額 (6)=(4)+(5)	222,642,303	198,063,081	24,579,222	112.41%
	基本金取崩額 (7)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額 (8)	6,081,949	18,408,541	△ 12,326,592	33.04%
	その他の積立金積立額 (9)	16,443,971	17,441,039	△ 997,068	94.28%
	※ 4 次期繰越活動増減差額 (10)=(6)+(7)+(8)-(9)	212,280,281	199,030,583	13,249,698	106.66%

- ※ 1 サービス活動増減の部 法人運営事業や地域福祉事業、介護保険事業、障害福祉サービス事業など社協活動による収益と費用を表します
○次のページにその詳細を紹介しています
- ※ 2 サービス活動外増減の部 預金（基金）利息やコピー代収入など社協活動以外の収益と費用を表します
- ※ 3 特別増減の部 入浴車 1 台が寄贈されたこととマイクロバス 1 台を売却したことによる収益と備品等の処分を行ったことによる損失を表します
- ※ 4 次期繰越活動増減差額 前期（平成 29 年度以前）からの利益と当期（平成 29 年度）の利益を合算し、次期（平成 30 年度）に繰り越す利益を表します

貸借対照表

平成30年3月31日(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目名	当年度末	前年度末	増減	科目名	当年度末	前年度末	増減
流動資産	214,374,018	199,336,372	15,037,646	流動負債	46,024,021	44,238,927	1,785,094
現金	146,000	157,182	▲ 11,182	事業未払金	6,070,229	5,974,958	95,271
預貯金	150,853,305	133,009,709	17,843,596	その他の未払金	25,636,696	23,896,345	1,740,351
事業未収金	48,104,053	52,871,834	▲ 4,767,781	預り金	574,000	835,793	▲ 261,793
未収補助金	14,544,462	12,544,859	1,999,603	職員預り金	2,021,897	814,753	1,207,144
介護用品棚卸資産	647,959	667,939	▲ 19,980	賞与引当金	11,721,199	12,717,078	▲ 995,879
立替金	31,037	17,071	13,966				
仮払金	47,202	67,778	▲ 20,576	固定負債	131,053,720	131,450,900	▲ 397,180
固定資産	447,077,633	437,115,645	9,961,988	退職給与引当金	131,053,720	131,450,900	▲ 397,180
基本財産	36,650,000	36,650,000	0				
土地	32,650,000	32,650,000	0				
定期預金	4,000,000	4,000,000	0	負債の部合計	177,077,741	175,689,827	1,387,914
その他の固定資産	410,427,633	400,465,645	9,961,988	純資産の部			
建物	270,041	413,640	▲ 143,599	基本金	4,000,000	4,000,000	0
建物附属設備	16,845	25,265	▲ 8,420	基本金	4,000,000	4,000,000	0
構築物	766,942	990,054	▲ 223,112	その他の積立金	268,093,629	257,731,607	10,362,022
車輛運搬具	6,005,238	27	6,005,211	地域福祉基金積立金	216,052,929	212,834,860	3,218,069
器具及び備品	3,501,546	5,609,390	▲ 2,107,844	人件費積立金	18,432,485	18,373,659	58,826
ソフトウェア	1,218,002	3,045,002	▲ 1,827,000	修繕積立金	17,439,000	17,439,000	0
投資有価証券	9,968,770	9,958,360	10,410	備品等購入積立金	6,081,949	0	6,081,949
長期貸付金	1,813,500	1,862,500	▲ 49,000	災害救援基金積立金	3,011,666	3,002,659	9,007
退職手当積立基金預け金	118,773,120	120,829,800	▲ 2,056,680	葬祭用具買替積立金	0	6,081,429	▲ 6,081,429
地域福祉基金積立資産	216,052,929	212,834,860	3,218,069	車輛購入積立金	7,075,600	0	7,075,600
人件費積立資産	18,432,485	18,373,659	58,826				
修繕積立資産	17,439,000	17,439,000	0	次期繰越活動収支差額	212,280,281	199,030,583	13,249,698
備品等購入積立資産	6,081,949	0	6,081,949	うち当期活動増減差額	23,611,720	10,151,964	13,459,756
災害救援基金積立資産	3,011,666	3,002,659	9,007				
葬祭用具買替積立資産	0	6,081,429	▲ 6,081,429				
車輛購入積立資産	7,075,600	0	7,075,600	純資産の部合計	484,373,910	460,762,190	23,611,720
資産の部合計	661,451,651	636,452,017	24,999,634	負債及び純資産の部合計	661,451,651	636,452,017	24,999,634



社協は助成金の交付手続き、レクリエーション用具貸出、演芸ボランティア紹介調整等、地域で実施する敬老会の支援を行いました(H29.9.13 黒土公民館)

平成29年度
事業・決算報告

社会福祉協議会が 地域福祉を推進する 中心的な担い手として

6月15日(金)一宮保健福祉センターで開催した「第35回評議員会」で、平成29年度事業報告ならびに決算が承認されました。

29年度は、「第3次地域福祉推進計画(愛称・支え合いふくしプラン)」の2年次として掲げた活動を推進しました。

今月号では、29年度に取り組んだ活動と決算の概要についてお知らせします。

社協の組織と経営を強化 〜第7期がスタート〜

社会福祉法人制度改革により、活発な協議ができる評議員会をめざし、評議員数を25名(40名から15名減員)としました。

第33回評議員会(平成29年6月16日)において第7期役員(理事・監事)が選任され、同日、第7期

第1回理事会を開催し、会長に森本都規夫氏を選任しました。

理事会では、業務監査のため監事が毎回出席し、各理事それぞれの立場から経営や事業についての確かな助言をいただきました。

地域福祉活動推進のため 補助・委託事業を展開

29年度も地域福祉活動を安定して展開するために、行政からの補助事業や委託事業(出会いサポートセンター、短時間通所サービス(ミニデイサービス)、配食サービス、障がい者相談支援センター、生活支援体制整備、敬老会等)に取り組みました。

今後も、「だれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり」を進めていくために、行政と連携を図りながら、地域福祉活動を展開していきます。

重点事業を調査・研究 〜業務研究会の設置〜

第3次地域福祉推進計画の重点事業について推進していくため、2次計画に引き続き、本会理事と



宍粟市が進める「自主防災マップ作成講習会」に参加しマップづくりの必要性を確認
〜役職員業務研究会1班〜

職員で役職員業務研究会を設置しました。

テーマごとに5つの班を編成し、福祉サービスの資源開発や事業の推進につなげていくため、昨年の10月から調査・研究に取り組んでいます。

3次計画の進捗状況については、「第3次地域福祉推進計画を進める会」で、半期ごとに点検・評価を行い、30年度に向けた課題や目標を設定しました。

事業・決算報告の詳細は、本会ホームページや本部各支部窓口でご覧いただけます。

(地域福祉課長 波多野好則)

見えてきた“活動や成果”のカタチ

(事業報告書より一部掲載)

見守り・支え合い活動を推進

各自治会に設置の**福祉連絡会**（自治会役員、民生委員、**福祉委員**等で組織）に助成金を交付し活動の基盤を支え、集いの場や居場所づくりの提案をはじめ、地域見守り会議の啓発など、福祉連絡会が取り組む見守り・支え合い活動を応援しました。



福祉連絡会への活動支援

153 自治会 408 万円助成
福祉委員の設置 878 名
福祉委員研修会 402 名

地域に根ざした社協の介護サービス

介護保険事業や**障がい福祉サービス**の指定事業者として、地域に根ざした社協ならではの「だれもが安心して利用できる介護サービス」を行いました。



居宅介護・介護予防支援（ケアプラン作成） 4,490件
通所介護（デイサービスセンター） 7,567件
訪問介護・居宅介護（ホームヘルプ） 1,760件
訪問入浴介護（入浴サービス） 862件
障がい者相談支援センター（計画作成） 444 件

災害に備えた体制の充実

災害時での人材確保とネットワークづくりを目的に、**宍粟市災害ボランティアネットワーク**を結成し、情報交換や学習の機会、訓練の実施などネットワークの輪を広げました。



災害VC設置訓練 15 名
(市総合防災訓練参加)

困ったときの相談窓口

日常生活の中での困りごとや悩みの解決を図るため、**介護、福祉、結婚、法律、生活困窮等**、あらゆる相談を日常業務の中で受けとめ、専門相談機関と連携しながら相談・援助を進めました。

無料法律相談 6 回・44 件
介護・福祉相談 201 件



出前講座で学習の機会を

学校や地域、事業所等で福祉を学べる機会として**ふくしの出前講座（福祉学習会）**を行い、職員をはじめ、それぞれの分野の専門職や障がいのある方、ボランティアのみなさんが講師（ゲスト）として参加・協力しました。



学校 12 校・27 教室
地域 8 自治会

地域の中で気軽に寄れる集いの場

生活支援コーディネーターが、地域の誰もが何らかの役割をもって参加できる**集いの場や居場所づくり**を提案し、ふれあい喫茶やサロン等で活動を広げてきました。また、新たな集いの場等の立ち上げ支援として赤い羽根共同募金配分金の助成等を行いました。



ふれあい喫茶 127 団体・延 628 回
ふれあいサロン 30 団体・延 123 回
集いの場・居場所づくり立上げ支援 4 団体

地域づくり講演会で“宝物さがし”

『“ホンモノ、の支え合って何だろう…”』をテーマに講演会を開催し、**お互いさまで見守り・支え合える地域づくり**について考えました。また、ふれあいサロンや地域見守り会議、空き家の活用、配食サービスなど、さまざまな「**お宝（支え合いの取り組み）**」を発信しました。



支え合いの地域づくり講演会 300 人参加

生活困窮世帯への支援



生活困窮支援の一環として**食のセーフティネット事業**を立ち上げ、各家庭や企業などで眠っている食品等を善意銀行で受け付け活用しました。

食のセーフティネット事業
受付 70 件 支援 7 件

出会いと結婚の促進

婚活セミナーやカップリングパーティーなど企画実施する**出会いサポートセンター**と、婚活応援団である**結婚相談員**さんによりパートナー探しに取り組みました。

結婚相談所の開設 24 回
お見合い件数 46 件
成婚数 5 組



高齢者の食生活を応援

配食サービス事業は、ボランティアが調理した手作りお弁当をお届けし、孤独になりがちなひとり暮らし高齢者等の見守り活動や生活支援につなぐ重要な役割を担いました。



実施回数 387 回
延べ配食数 14,972 食
延べボランティア数 5,238 名

宍粟市社協:平成29年度決算報告

決算の詳細 (事業活動計算書 サービス活動増減の部)

収益〈収入〉について

○介護保険事業収益

前年度赤字を計上した通所介護事業が黒字になったことで、介護保険事業全体で2,611千円増益の14,772千円の黒字決算となりました。

○障害福祉サービス等事業収益

相談支援センターゆめぐらんでは児童の計画支援などが増えたことや、障がいホームヘルプサービスへの要望が高いことから、2,077千円増益の4,585千円の黒字決算となりました。

○寄付金収益

5月に遺贈として3,218千円の寄付をいただいたことなどから、善意銀行への預託は4,295千円増加しました。

○会費収益

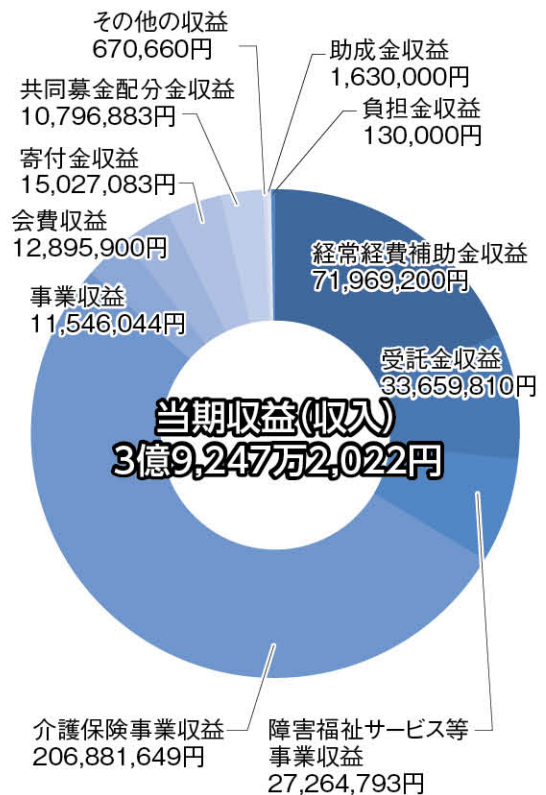
各ご家庭にご協力いただく「社協一般会費」と2月に募集をした「賛助会費」は、前年度に比べ274千円減少しました。

○経常経費補助金収益

新たに地域福祉推進計画の推進を目的とした補助事業が始まったことなどから、補助金収益は5,047千円増加しました。

○委託金収益

平成29年度末で通所型介護予防事業（お達者クラブ事業）が終了し、新しい総合事業のひとつである短時間通所サービス（ミニデイサービス）事業に移行したことなどにより、委託金収益は2,601千円減少しました。



費用〈支出〉について

○人件費

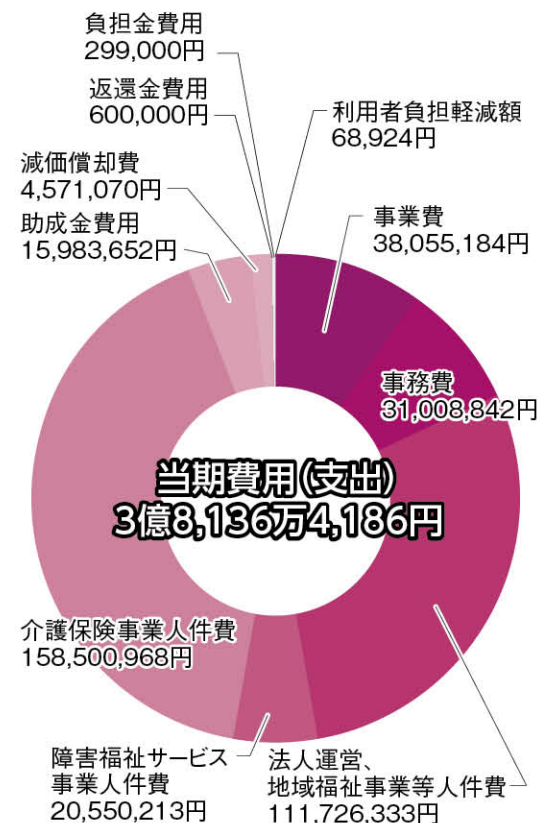
職員105名（平成29年度の状況のうち47名は非常勤職員）の人件費は、費用の約76%を占めています。平成29年度は介護保険事業やミニデイサービス事業等で効率的な勤務スケジュールを組んだことで、前年度に比べ3,057千円減少しました。

○事業費、事務費

マイクロバスの売却等会用車の整理を行ったことで車両の維持管理経費が削減されたことや、事務消耗品の購入や業務委託費等内容を精査することで、事業費を5,619千円、事務費を5,061千円削減しました。

○助成金

小地域福祉活動に取り組む自治会福祉連絡会には153自治会に4,085千円を助成しました。ボランティアグループへは、118グループに1,575千円の助成を行い、安定した活動ができるよう支援しました。



平成29年度の事業報告書、決算書は本会のホームページでも紹介しています。また、本部・各支部窓口で閲覧していただくこともできますので、お気軽にお尋ねください。